

■佐藤泰然 蘭方医・外科医。佐倉に{順天堂}を開設，診療とともに子弟教育，わが国初の私立病院になった。

さとうたいぜん

いざな来航・ 1804 = 武蔵国川崎在稲毛で，庄内藩出身の江戸の公事師の長男に生まれる。

浮世床・ ・ ・ 1813 = 9歳：

水野忠成老中1818 = 14歳：

英船浦賀来航1822 = 18歳：

少年時代を江戸で父母とともに送り，旗本伊奈氏に仕えていたが，

富簞流行・ ・ 1830 = 26歳：_医学を志して，蘭方医足立長雋の門に入り，

富嶽三十六景1831 = 27歳：_ついで高野長英を師とするも満足できず，

滑稽+人情本 1835 = 31歳：生母の姓をとって和田泰然と名を改め，_長崎に遊学。蘭館長J.E.ニーマンに教えを受ける。

大塩平八郎乱1837 = 33歳：

適塾オープン・ 1838 = 34歳：*江戸に帰り，日本橋薬研堀に医業{和田塾}を開き，やがて盛名を得るようになるが，

勸進帳初演・ 1840 = 36歳：_訳あって塾を親友に譲り，

順天堂始・ ・ 1843 = 39歳：*老中を辞めた佐倉藩主堀田正睦に招かれ，姓も佐藤と改めて，日本最初の私立病院{順天堂}を創始，

阿部正弘首座1845 = 41歳：

西洋医学による高度な医学教育と医療を行い，その名が全国に知られて行く。

・ ・ ・ ・ ・ 1847 = 43歳：江戸の親友林洞海に預けていた次男の良順が佐倉に来て助手となるとともに，山口舜海という優秀な助手も得て，高度な外科手術を行い，紀伊の華岡と外科の二大家と並び称される。

北斎没・ ・ ・ 1849 = 45歳：良順は將軍に仕える漢方医松本家の養子となって，佐倉を離れる。

尊徳報徳論・ 1851 = 47歳：_日本初の膀胱手術を(麻酔無しで)行い，

万次郎帰国・ 1852 = 48歳：_続いて，困難とされた卵巣水腫の手術も(麻酔無しで)行う。

ペリー来航・ 1853 = 49歳：この年，舜海を嗣養子とし，尚中とする。*功績が認められて，佐倉藩の藩医となる。

安政大地震・ 1855 = 51歳：堀田正睦が再び老中となり，医学面のほか，兵制・外交問題などについても提言するなどの活躍するうち，

五ヶ国条約・ 1858 = 54歳：_正睦が老中罷免となったのに失望し，

安政の大獄・ 1859 = 55歳：*尚中にあとを継がせて，隠居，

桜田門外変・ 1860 = 56歳：

生麦事件・ ・ 1862 = 58歳：横浜に移り，J.C.ヘボンらと交友があったが，

禁門の変・ ・ 1864 = 60歳：正睦の病気が重くなったことを知り，佐倉に駆けつけて看護するも，死去する。

大政奉還・ ・ 1867 = 63歳：

明治維新・ ・ 1868 = 64歳：

学問のすすめ1872 = 68歳：肺炎を患い，東京に移って尚中の治療を受けたが，_没した。
子に松本良順，林董。訳著に「謨斯篤牛痘編」「痘科集成」がある。

「人づくり風土記(千葉)」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「本朝医人伝」，